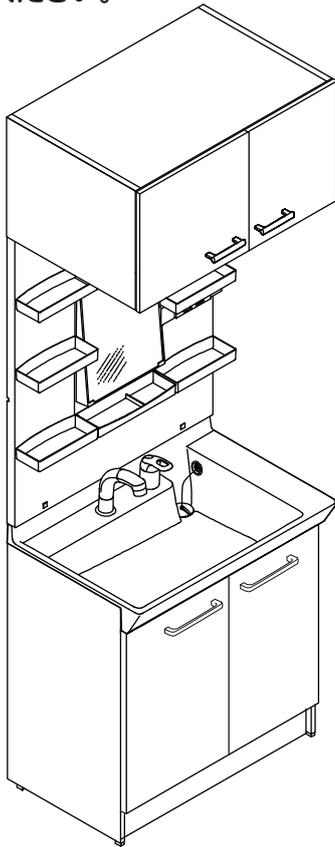




洗面化粧台 PV

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しく安全にお使いください。



取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
※この取扱説明書と水栓金具・機器類の取扱説明書は必要なときにすぐ取り出せるところへ保管してください。
※転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

取付業者さまへ
取扱説明書は必ずお客さまにお渡しください

品番を調べる

●本体に貼ってあるラベルを見る……1

各部のなまえ……1

安全上のご注意

●表示マークについて……2

●絵表示について……2

使用時のご注意

●故障をおこさないために
お守りください……5

ご使用方法

●湯・水を使う……6

●排水栓を開閉する……6

●ヘアーキャッチャーの
取外し・取付け……6

お掃除方法……7

長くお使いいただくために

●シャワーや吐水口からの流量が少なくな
ったと感じたら……9

●冬期凍結の恐れがある場合……9

●扉の開閉がスムーズでないと感じたら
……10

故障かな?と思ったら……13

アフターサービスについて

●修理を依頼される前に……14

●保証書をご覧ください……14

●修理を依頼される時……15

●部品の保有期間について……15

仕様……16

廃棄について……17

保証書……18

品番を調べる

本体に貼ってあるラベルを見る

扉を開けたキャビネット本体内部の右上に貼ってある品番表示ラベルで品番を確認してください。
 ※ラベルの貼付位置は「各部のなまえ」にてご確認ください。

例)洗面化粧台 品番表示ラベル

品番
PTV-755SY/VP1

製造番号 (MB)
A0101-15A010001



修理のご依頼は、
 お求めの販売店または
 LIXIL 修理受付センター
 0120-179-411

<http://www.lixil.co.jp/support/>

株式会社 LIXIL

各部のなまえ

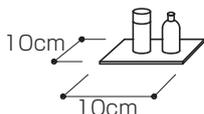
- ・商品の仕様はお客様に断わりなく変更することがあります。
- ・図は商品の例示であり、実際の商品と異なる場合があります。
- ・品番の見方は「仕様 (P.16)」にてご確認ください。

アッパーキャビネット：10kgまで

※底板がたわみ、収納物が倒れるなどして思わぬ被害の原因になる恐れがあります。

トレイ：10cm×10cm
 (100cm²) 辺り0.5kgまで

※トレイなどが破損・落下し、ケガをする恐れがあります。

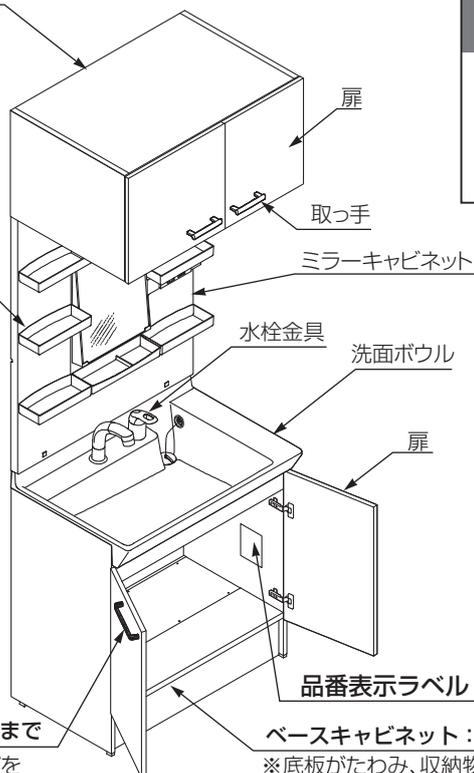


タオル掛兼用大型取っ手：0.5kgまで

※バーが破損・変形して落下し、ケガをする恐れがあります。

ベースキャビネット：10kgまで

※底板がたわみ、収納物が倒れるなどして配管に無理な力を加え、漏水する恐れがあります。

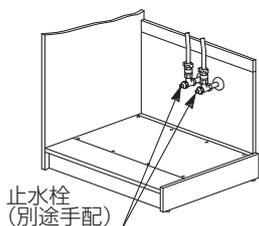


⚠ 注意

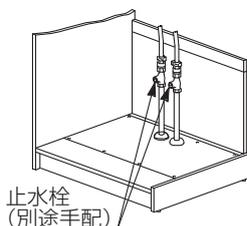
! 許容積載量を守って使用してください。
 ※許容積載量は平均的に物を載せた場合の値です。

配管部分の名称

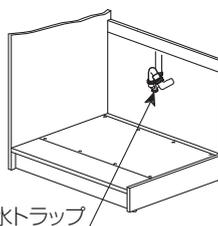
壁給水



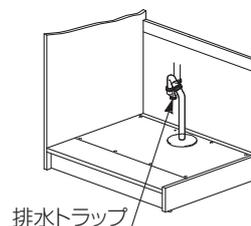
床給水



壁排水



床排水



安全上のご注意(必ずお守りください)

※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

※組み込まれている機器や付属品については、それぞれの取扱説明書および製品本体表示をご確認のうえ、ご使用ください。

表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

-  **警告** …………… 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷などを負う危険な状態が生じることが想定されます。
-  **注意** …………… 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

絵表示について

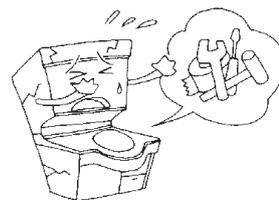
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

-  …………… 「注意しなさい！」(上記の『警告』『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)
-  …………… 「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)
-  …………… 「分解してはいけません！」
-  …………… 「指示した場所に触れてはいけません。」
-  …………… 「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)
-  …………… 「電源プラグをコンセントから抜いてください！」

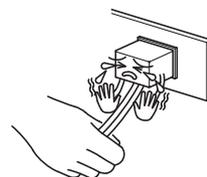
警告



改造や修理技術者以外による分解・修理を行わない。
※感電や漏水、発熱・発火による火災の恐れがあります。



電源プラグを抜くときはコード部分を持って引っ張らない。
必ず先端のプラグ部分を持って引き抜いてください。
※感電やショート・発火による火災の恐れがあります。



スイッチやコンセント、電源プラグなどの電気部品に水をかけない。また、ぬれた手で触らない。
※漏電や感電の恐れがあります。



注意

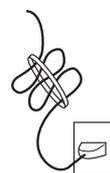
電源



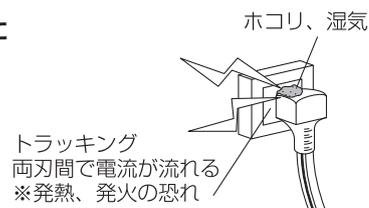
●電源は必ず適正配線された交流100Vコンセントを
単独で使用してください。
※発熱や発火による火災の恐れがあります。



●電源コードは束ねたまま使用しない。
必ず伸ばした状態で使用してください。
※発熱や発火による火災の恐れがあります。



●電気機器の電源プラグは定期的にコンセントから抜き、乾いた
布でホコリや湿気を拭き取ってください。
※ホコリや湿気がたまると、トラッキングによる火災の恐れがあります。



使用の中止



商品がガタついたり破損や故障した場合は、ただちに使用を中止し、修理を依頼してください。

※使用を続けると、より大きな損害を引き起こしたり、ケガをしたりする恐れがあります。
(15ページ「修理を依頼される時」をご覧ください。)

※電気機器が組み込まれた化粧台では、使用中止の際に必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いてください。

⚠ 注意

全体



- クレンジング剤などの化粧品、整髪料、毛染め剤、脱色剤、うがい薬、芳香剤、漂白剤、洗剤などが付着したまま放置しない。すぐに拭き取ってください。

※化粧品や洗剤の中には樹脂（プラスチック）に悪影響を与えるものもあります。
※放置するとヒビ割れや変形が発生して部材が破損・落下し、ケガをする恐れがあります。



- 洗面ボウルに乗ったり、開いた扉、取っ手などにぶら下がったりしない。

※無理な力をかけると部材が破損・落下し、ケガをする恐れがあります。



- 洗剤類、薬剤はそれぞれの「使用上の注意」に従い、使用してください。

※誤った使用により商品が変形・破損し、ケガをする恐れがあります。

洗面ボウル



- アルコールを多量に含む液（消毒液・洗口液・ヘアトニックなど）を使用した際はすぐ水で洗い流してください。

※放置すると洗面ボウルが破損し、漏水・ケガをする恐れがあります。



- 除光液やシンナーなどの有機溶剤を使ったり、近づけたりしない。

※洗面ボウルが破損し、漏水する恐れがあります。

- 塩素系洗剤や漂白剤を使ったり、近づけたりしない。

※金属やゴムを腐食・劣化させ、漏水する恐れがあります。

- 洗面ボウルに熱湯を注がない。

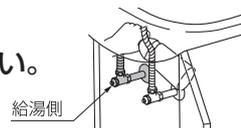
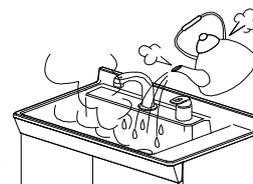
※急激な温度変化により洗面ボウルが割れて、漏水や家具などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。常温の水をためてから注いでください。

- 洗面ボウルに固いものを落とさない。

※キズやヒビ割れ、破損の原因となります。

- お湯の使用時、使用直後はキャビネット内の給湯側配管に触らない。

※熱湯が通って高温になっているため、ヤケドをする恐れがあります。



キャビネット



- キャビネット内に塩素系、酸性の薬品・洗剤類を保管する場合は、保管方法に注意してください。

※腐食性ガスが発生すると、蝶番のサビや扉の開閉動作不良の原因になります。塩素系・酸性の薬品・洗剤類を保管する場合は、キャップを確実に閉めてください。キャビネットや容器に付着した場合は、すぐに拭き取ってください。

- 扉が傾いたり、ガタついたりする場合は、扉の調節や付けなおしを行ってください。

※扉が外れ、落下によりケガをする恐れがあります。（10～11ページ「扉の開閉がスムーズでないと感じたら」をご確認ください。）



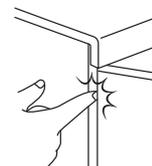
- 大型取っ手にぶらさがったり、掛かったタオルを強く引っ張ったりしない。

- 扉を大きく開けすぎない。

※扉が外れてケガをする恐れがあります。

- キャビネット扉の隙間に指を入れない。

※開閉動作時に誤って挟まり、ケガをする恐れがあります。



⚠ 注意

水栓金具



- 水栓金具を手すり代わりにしたり、引っ張ったり無理な力をかけない。

※水栓金具が破損・脱落し漏水やケガの恐れがあります。

- 水栓金具のホースストッパーは位置をずらさない。

※ホースが出し入れしにくくなったり、水受けトレイの位置からずれたりして、キャビネット内をぬらす恐れがあります。

※ホースが出すぎると水が洗面ボウルからこぼれ、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。



- 凍結が予想される場合は、必ず水抜きを実施してください。9ページ「凍結の恐れがある場合」をご覧ください。

※実施しない場合、配管が凍結破損して漏水し、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。

※凍結による破損は、保証期間内でも有料修理になりますのでご注意ください。

- 断水時は水栓金具のハンドルを必ず「止水」の位置にしてください。

※「吐水」の位置で断水が終了すると、水があふれ家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。

使用時のご注意

故障をおこさないためにお守りください

お願い

全体

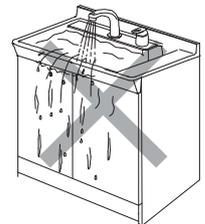
- ヒーターなどの熱源やタバコ・マッチなどの火気を近づけないでください。
※変形やコゲ跡がつく原因となります。
- 直射日光やスポット照明、殺菌灯などを当てないでください。
※変色や変形の恐れがあります。直射日光はカーテンなどで必ずさえぎってください。
- 市販の吸盤付タオル掛、吸盤付き石けん置きなどを使用しないでください。
※洗面ボウルやキャビネットに吸盤を貼ると、貼った周辺が変色する場合があります。
- 金属類を放置しないでください。
※サビが付着して取れなくなる場合があります。

洗面ボウル・カウンター

- カウンター、洗面ボウルのデッキ面にぬれたものを長時間放置しないでください。
※変色したり、膨れたりする恐れがあります。

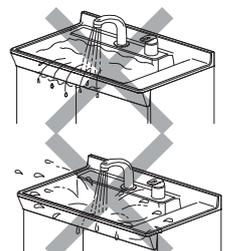
キャビネット

- キャビネットに水などをこぼさないでください。ぬれたらすぐに拭き取ってください。
※表面だけでなく、水がたまりやすい上下端部も拭き取ってください。
※木質でできていますので、水を含んでふくらんだり、表面材がはがれたりする原因となります。
- キャビネットの中にもものをたくさん入れすぎないでください。
※収納物が配管に当たり、漏水する恐れがあります。



水栓金具

- 水のためは「整流」で行ってください。
※シャワーで行うと、水面が波立ち、水があふれる場合があります。
※ご使用中に水が洗面ボウル左側の斜面部から流れ出ないようにしてください。
※2ハンドル混合水栓の場合は流量をしばってください。



- ⑤ ● 水ハネが多い場合は流量を調節してください。
※調節方法は9ページをご覧ください。

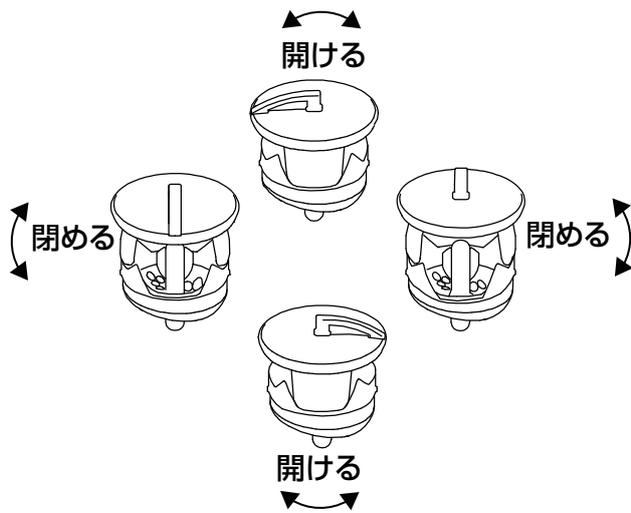
ご使用方法

湯・水を使う

水栓金具の取扱説明書をご確認ください。

排水栓を開閉する

つまみを左右に90度ずつ回転させて排水栓を開閉します。



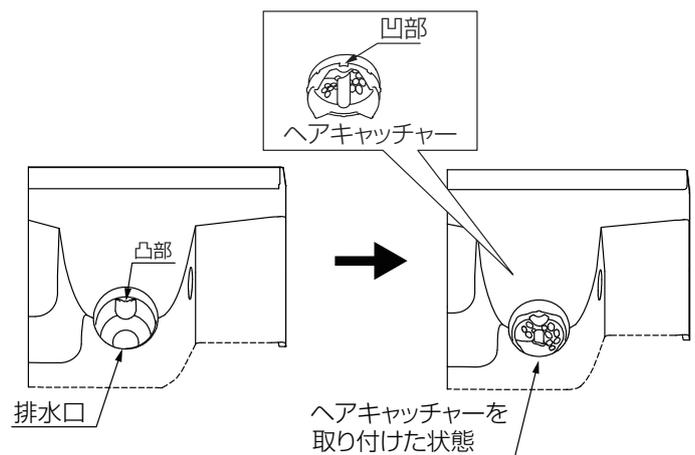
ヘアキャッチャーの取外し・取付け

取り外す

ヘアキャッチャーを排水口から取り外します。

取り付ける

ヘアキャッチャーの凹部を奥側に向けて、排水口の凸部に合わせるように取り付けます。



お掃除方法

お手入れの基本道具



- ・浴室用洗剤 (中性)
- ・住宅用洗剤 (弱アルカリ性、中性)



- ・やわらかいスポンジ (ポリウレタン製、ポリエステル製)



- ・やわらかい布

使用してはいけない道具

- ・アルコール、シンナーなどの有機溶剤や薬品
- ・粉末クレンザー、磨き粉など研磨力の強いもの
- ・オレンジオイル配合の洗剤
- ・酸性、塩素系の洗剤
 - ※樹脂(プラスチック)表面にヒビ割れや変形が発生する場合があります。
 - ※表面が変色したり、シミになる恐れがあります。
- ・硬いスポンジ (金属タワシ、ナイロンタワシなど)
- ・メラミンスポンジ
- ・毛先の固いブラシ
- ・古くなった布
- ・トイレトペーパー
 - ※表面にキズがつく恐れがあります。



水栓金具

毎日のお手入れ

やわらかいきれいな布で水ぶきします。

週1回のお手入れ

浴室用洗剤 (中性) をぬらしたスポンジか布に2~3回吹き付けて汚れを落とします。

お願い

ナイロンたわしやブラシ、メラミンスポンジは使用しないでください。

※水栓金具の表面にキズがついたり、印字部分 (湯水・流量 調節の表示) が消える恐れがあります。

洗面ボウル

毎日のお手入れ

水でぬらしたやわらかいスポンジ (ポリウレタン製、ポリエステル製) で汚れや水滴を力をかけず拭き取ります。

週1回のお手入れ

浴室用洗剤 (中性) を洗面ボウル内に吹き付け、2~3分おいてから水でぬらしたやわらかいスポンジで力をかけず拭き取ります。

お願い

- 硬いスポンジ (金属たわし、ナイロンたわしなど)、メラミンスポンジ、研磨剤入りは使用しないでください。

※洗面ボウルの表面にキズが付く恐れがあります。

- 洗剤は浴室用洗剤 (中性) をご使用ください。

キャビネット・扉

週1回のお手入れ

キャビネット表面を水ぶき、または住宅用洗剤を布につけて拭きます。

月1回のお手入れ

収納内部を水ぶき、または住宅用洗剤を布につけて拭きます。

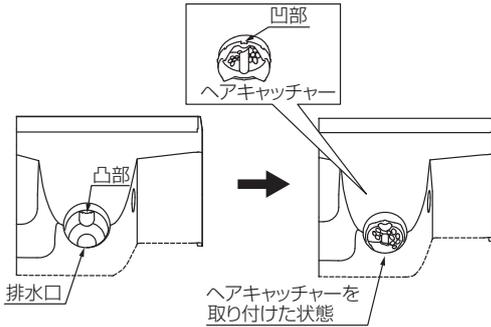
お願い

木製部分はぬれたまま放置しないでください。

※ぬれたらすぐに拭き取ってください。

※木質でできていますので水を含んでふくらんだり、表面材がはがれたりする原因となります。

排水口(排水栓・ヘアキャッチャー)



お願い

- 硬いスポンジ(金属たわし、ナイロンたわしなど)、メラミンスポンジ、研磨剤入りは使用しないでください。
※洗面ボウルの表面にキズが付く恐れがあります。
- 洗剤は浴室用洗剤(中性)をご使用ください。

毎日のお手入れ

ヘアキャッチャーのゴミ、髪の毛を取り除き、水洗いをします。

週1回のお手入れ

- ヘアキャッチャーは浴室用洗剤(中性)をつけた歯ブラシでぬめりを落とします。
- 排水栓・排水口はぬらしたやわらかい布やスポンジに浴室用洗剤(中性)を2~3回吹き付けて汚れを落とします。奥まった箇所は、綿棒を使って汚れを落としてください。

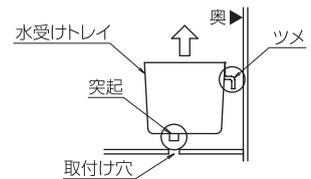
水受けトレイ(シャワー水栓のみ)

お手入れの前に収納物を取り出してください。

月1回のお手入れ

水受けトレイを上を持ち上げて取り外し、布で中の水気を拭き取ります。水受けトレイのツメを奥に向け、トレイ裏の突起を取付け穴に合わせて置きます。

最後に、ホースを水受けトレイに収めてください。



排水トラップ

お手入れの前に収納物を取り出してください。

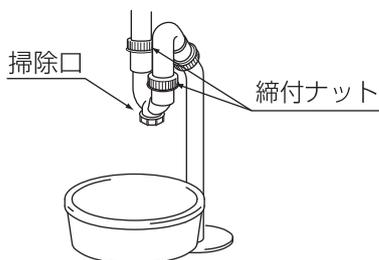
月1回のお手入れ

排水パイプ洗浄剤で掃除します。

年1回のお手入れ

掃除口にたまったゴミを取り除きます。

- ①掃除口の下に水を受ける容器を置き、掃除口または締付ナットを手で回して取り外します。
- ②掃除口内やU字管内のヌメリやゴミを取り除きます。
- ③掃除口を元通りに取り付け、水を流して水が漏れていないことを確認します。



⚠ 注意

- ナット類は手でしっかりと締め付けてください。
※締め付けが不十分だと漏水する恐れがあります。
- 掃除口やU字管以外の締付ナットに触れたり、外したりしないでください。
- パッキン、ワッシャーにキズや変形が見られる場合は、必ず交換してください。
※漏水の恐れがあります。

👉 ワンポイント

排水トラップは、配管の途中に水(封水)をためて、下水から悪臭や害虫が室内に侵入するのを防ぎます。排水トラップのお手入れ終了後は各部を確実に取り付け、必ず10~20秒水を流して、封水をためてください。

長くお使いいただくために

シャワーや吐水口からの流量が少なくなったと感じたら

流量の調節

流量の調節は止水栓を操作して行ってください。

お願い

メンテナンスなどで止水栓を閉めるときは何回転させたかを記録してください。止水栓を元の位置に戻すときに必要です。

※元の位置に戻さないと設定が変わり、湯温が変化したり、水があふれたりする場合があります。

- ① 水栓金具のレバーハンドルを湯側いっぱいまで回して吐出し、湯側止水栓（向かって左）を手回しマイナスドライバーで回して適量に調節します。

止水栓の操作

流量を多くする……… 調節部を左に回す
流量を少なくする…… 調節部を右に回す
閉める…………… 調節部を右に止まるまで回す

- ② 水栓金具のレバーハンドルを水側いっぱいまで回して吐出し、湯側いっぱいの流量と同じになるよう、水側止水栓（向かって右）を手回しマイナスドライバーで回して調節します。
- ③ 水栓金具のレバーハンドルを中央（湯と水の中間）の位置で吐出し、水ハネを確認します。



ワンポイント

レバーハンドルを全開にしたときに、水側または湯側の流量が約8L/min^(注1)を超えた場合は、止水栓で流量を調節してください。

(注1) 8L/minの目安は、市販の洗面器（容量3L）をいっぱいにするのに約25秒です。



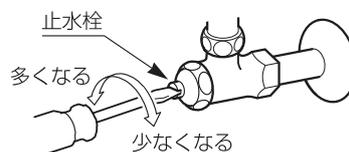
注意



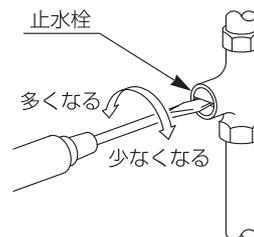
お湯の使用時、使用直後はキャビネット内の給湯側配管に触らない。

※熱湯が通って高温になっているため、ヤケドをする恐れがあります。

●壁給水の場合



●床給水の場合



※上記はドライバー式止水栓の例です。

冬期凍結の恐れがある場合

水栓金具の水抜き



注意



凍結が予想される場合は、次の対策を実施してください。

●水栓金具が一般地仕様の場合…水栓金具から少量の水を出したままにしてください。

●水栓金具が寒冷地仕様の場合…建築側配管の水抜き操作後に、水栓金具のハンドルを全開にして水抜き操作を行ってください。

詳細な操作については水栓金具の取扱説明書をご確認ください。

※実施しない場合、配管が凍結破損して漏水し、家財などをめらす拡大損害発生の恐れがあります。

※凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますのでご注意ください。

扉の開閉がスムーズでないと感じたら

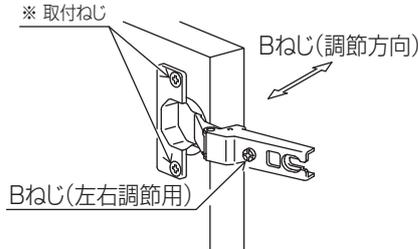
扉の水平・垂直が正確に出ていないと、スムーズに開閉しないことがあります。
扉がずれている場合は蝶番(ヒンジ)を手回しプラスドライバーで調節してください。

扉の調節

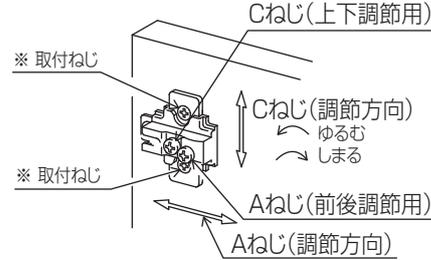
A、B、Cの各調節ねじは扉を取り付けたまま手回しプラスドライバーで調節可能です。

※下記イラストは扉を外した状態です。

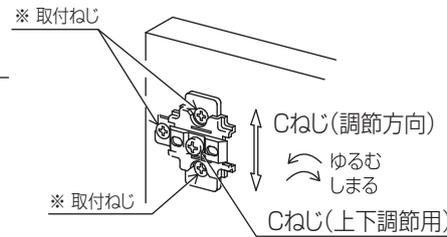
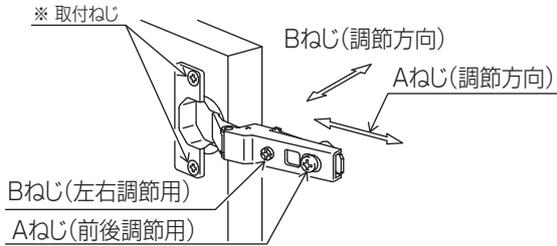
■洗面化粧台(ねじ固定式)の場合



※取付ねじは絶対にゆるめないでください。



■アップーキャビネット(ワンタッチ式)の場合



⚠ 注意

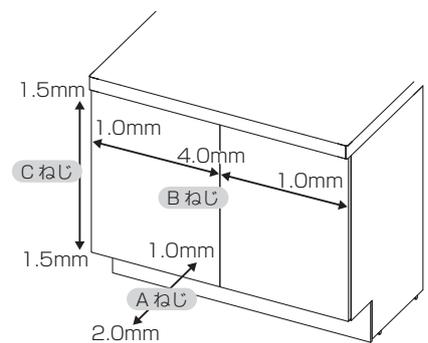
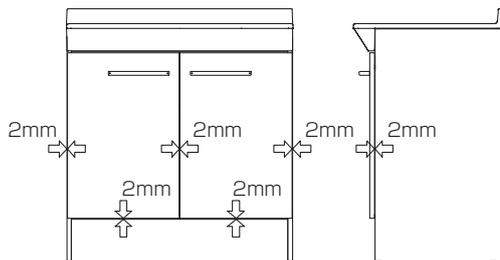


- 調節ねじA・B・C以外のねじをゆるめたり外したりしない。
※扉が外れてケガをする恐れがあります。
- 調節後は、必ずAねじ、Cねじが固く締め付けられていることを確認してください。
※ゆるんでいると、蝶番が外れて扉が落下し、ケガをする恐れがあります。

各ねじの調節方向と調節量

- | | |
|-----------------------|--|
| Aねじ
(前後調節) | ねじを軽くゆるめて、扉を前後に少しずつ動かして調節します。
前へ2mm、後へ1mm |
| Bねじ
(左右調節) | 右へ回す→内側へ4mm
左へ回す→外側へ1mm |
| Cねじ
(上下調節) | ねじを軽くゆるめて、扉を上下に少しずつ動かして調節します。
上へ1.5mm、下へ1.5mm |

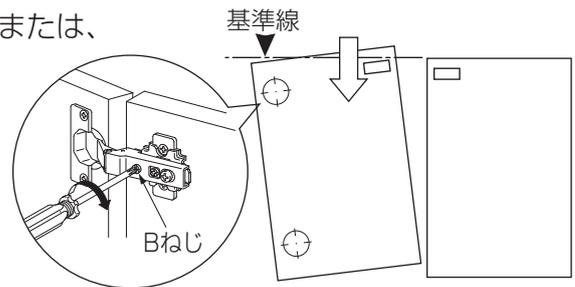
●扉の調節は、下記寸法を目安に調節してください。



長くお使いいただくために

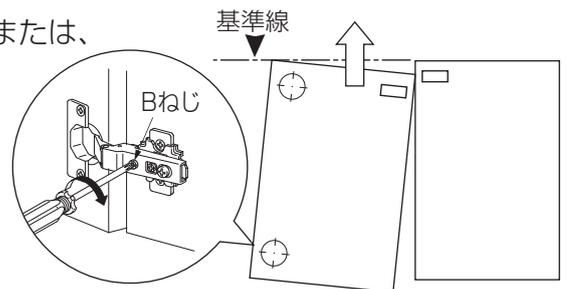
扉の先端が上がっているとき

- ① 扉上方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。または、扉下方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。
- ② 扉を閉めて位置を確認します。
- ③ 正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



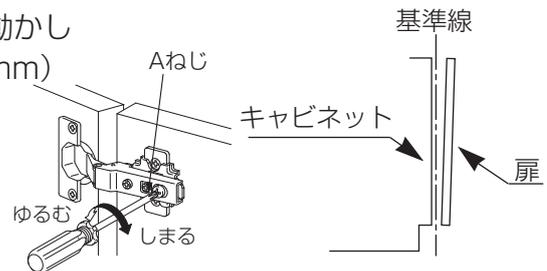
扉の先端が下がっているとき

- ① 扉下方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。または、扉上方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。
- ② 扉を閉めて位置を確認します。
- ③ 正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



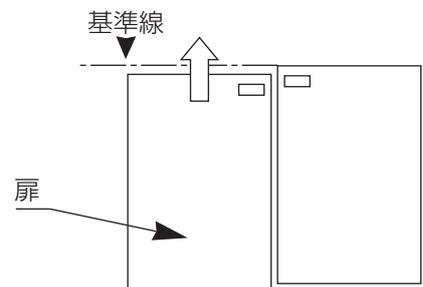
扉と側板の間隙が上下異なるとき

- ① 扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。(基準値：隙間2mm)
- ② 正しい位置でAねじを右へ回して締め付けます。



扉の位置が上下異なるとき

- ① 扉の上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にします。
- ② 正しい位置でCねじを右へ回して締め付けます。



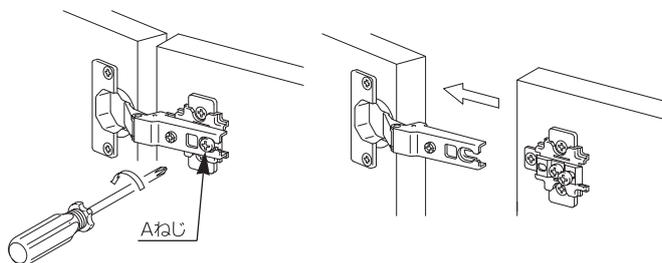
ワンポイント

- Aねじ、Bねじ、Cねじは扉を取り付けたままで調節できます。
- 2枚扉（両開き）の場合で、片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉を交互に調節してください。

扉の取外し

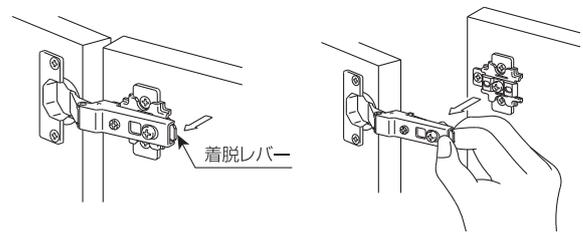
■ねじ固定式の場合

Aねじを手回しプラスドライバーでゆるめた後、扉を矢印の向きに引っ張って取り外します。



■ワンタッチ式の場合

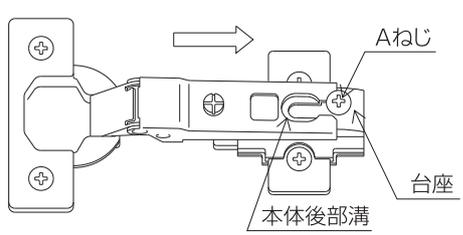
蝶番の着脱レバーを手前に引き、蝶番を矢印の向きに引っ張って取り外します。



扉の取付け

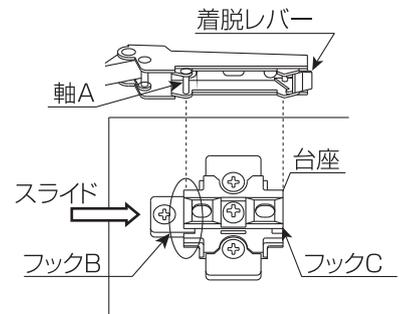
■ねじ固定式の場合

本体後部溝をAねじに差し込みAねじを締め付けます。

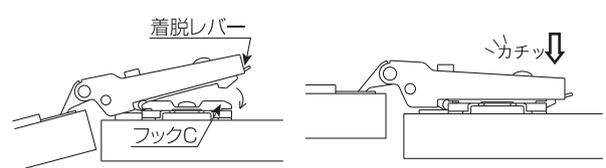


■ワンタッチ式の場合

①扉を矢印の向きにスライドさせて蝶番の軸AをフックBに引っ掛けます。



②蝶番の着脱レバーをフックCに合わせ、蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がするまで押します。



長くお使いいただくために

⚠ 注意

! 扉の取付後は蝶番が台座へしっかりはまっていることを確認してください。
※扉の外れや落下によりケガをする恐れがあります。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

参照ページ

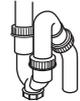
■キャビネット

Q 扉がガタついている	▶ A 蝶番のねじがゆるんでいる	▶ 蝶番のA、Bねじを増締めします。増締めした後、扉がずれていたら、調節します	▶ P10
Q 扉の先端が下がっている			
Q 扉の先端が上がっている			
Q 扉と本体の間隙が上下で異なっている			
Q 扉の位置が上下異なる		▶ 扉のズレを調節します	▶ P10

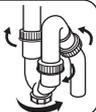
■水栓金具

Q 流量が少ない (水の勢いが弱い)	▶ A 止水栓が十分開いていない	▶ 止水栓を左に回して開けます		▶ P9
	▶ A ストレーナーが目詰まりしている	▶ ストレーナーの掃除をします (水栓金具の取扱説明書をご確認ください)		
	▶ A 給湯機器の能力切替が低めに設定されている(給湯の能力が不足している)	▶ 給湯機器の能力を高く設定します (給湯機器の取扱説明書をご確認ください)		
	▶ A 浴室などで湯を使っている	▶ 他の場所で同時に湯を使わないようにします		
Q 流量が多い (水の勢いが強い、水ハネが多い)	▶ A 止水栓が開きすぎている	▶ 止水栓を右に回して閉めます		▶ P9
Q 希望の温度が得られない (または、温度が変動する)	▶ A 季節の環境、外気が影響している	▶ 故障ではありません		
Q 水が止まらない	▶ A パッキンの寿命や傷み	▶ アフターサービスのページをご確認のうえ、ご連絡ください		▶ P14-15
Q 水を止めた後に、少しの間水が垂れる	▶ A 構造上、切替の内部にたまった少量の水が排出される	▶ 故障ではありません		

■排水口

Q 水がたまらない	▶ A 排水栓の変形、パッキンの傷み	▶ アフターサービスのページをご確認のうえ、ご連絡ください		▶ P14-15
Q 洗面ボウルから水があふれる	▶ A 止水栓が開きすぎている	▶ 止水栓を右に回して閉めます		▶ P9
Q 排水しない、あるいは排水がスムーズでない	▶ A 排水口が詰まっている	▶ 排水口を掃除します		▶ P8
	▶ A 排水トラップが詰まっている	▶ 排水トラップを掃除します		▶ P8

■排水トラップ

Q 漏水する	▶ A 排水トラップの接続がしっかり締め付けられていない	▶ 締付ナットをしっかりと閉めます		▶ P8
	▶ A 排水トラップのパッキンの傷み・変形	▶ アフターサービスのページをご確認のうえ、ご連絡ください		▶ P14-15

■ アフターサービスについて

修理を依頼される前に

商品が故障したら13ページ「故障かな?と思ったら」を参照してください。

それでも故障が直らない場合は、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。

取扱説明書どおりにご使用されても、まだご不明な点がある場合は、当社お客さま相談センターにご相談ください。



警告



改造や修理技術者以外による分解・修理を行わない。

※感電や漏水、発熱・発火による火災の恐れがあります。

保証書をご覧ください

保証書は必ず記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間は取付日から2年間です。

保証期間中でも、以下の内容によって生じた異常などについては保証の対象となりませんのでご注意ください。

- 取扱説明書に従わない使用上の誤りによる損傷
- 取付後の改造、移動、その他変更により生じたもの
- 火災、地震、その他天災地変により生じたもの
- 水栓金具や排水トラップの止水パッキンなどの消耗品

修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときはお求めの取扱店に修理を依頼してください。

保証期間中の修理

修理に関しては必ず保証書をご提示ください。
保証期間内は保証の規定に従って修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。
料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

連絡していただきたい内容

- おなまえ・おところ・電話番号
 - 商品名・品番← 1ページ「品番を調べる」参照
 - 取付年月日(保証書に表示)
 - 故障内容・異常の状況(できるだけ詳しく)← 13ページ「故障かな?と思ったら」参照
 - ご訪問希望日
- ※お客さまからご連絡いただく氏名や住所などの個人情報、商品の点検修理にのみ利用し管理いたします。
なおこれらの業務に携わる協力会社へもお客さまの個人情報を開示することがありますが、弊社と同等の管理をいたします。

修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先

お求めの取扱店、LIXIL修理受付センターに連絡してください。

- お求めの取扱店(保証書に表示)
- LIXIL修理受付センター

■WEBサイトからの修理依頼はこちら

※24時間依頼可能



リクシル修理

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

■お電話でも修理を承ります

受付時間/9:00~19:00

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年間です。
保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますので、ご了承ください。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕様

■化粧台本体の品番一覧

間口	600・750		
品番	PVN-600 (N) PVN-750 (N)	PVN-605S (N) PVN-755S (N)	PVN-605SY (N) PVN-755SY (N)
サイズ (mm) (幅×奥行き×高さ)	600サイズ：600×500×850 750サイズ：750×500×850		
水栓金具	2ハンドル混合水栓	シングルレバー 洗髪シャワー水栓 (シャワー吐水のみ)	シングルレバー 洗髪シャワー水栓 (エコハンドル仕様) (シャワー・整流吐水切替付)
排水器具	上下昇降式排水栓 (ヘアキャッチャー付)		
洗面ボウル	樹脂製 (アクリル系樹脂) 600サイズ：12L 750サイズ：15L		
本体	木製 (パーティクルボード、合板、MDF)		
扉カラー	VP1：ホワイト		
付属品	排水トラップ 排水アダプター 排水プレート 上下昇降式排水栓 取っ手セット (2個)	排水トラップ 排水アダプター 排水プレート 上下昇降式排水栓 取っ手セット (2個) 水受けトレイ ホースガイド	排水トラップ 排水アダプター 排水プレート 上下昇降式排水栓 取っ手セット (2個) 水受けトレイ ホースガイド

■化粧台本体の品番の見方

品番 / 色番

PV N- 60 5SY N / VP1 H

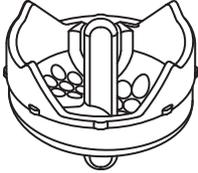
① ② ③ ④ ⑤ / ⑥ ⑦

- ① PV・・・シリーズ名
- ② N・・・扉タイプ
- ③ 60・・・間口600mm
75・・・間口750mm
- ④ 0・・・2ハンドル混合水栓
5S・・・シングルレバー洗髪シャワー水栓
5SY・・・シングルレバー洗髪シャワー水栓 (エコハンドル)
- ⑤ なし・・・一般地仕様
N・・・寒冷地仕様
- ⑥ VP1・・・扉色 ホワイト
- ⑦ H・・・洗面ボウル色 ホワイト

■アップパーキャビネットの品番一覧

間口	600・750	
品番	PVU-604	PVU-754
サイズ (mm) (幅×奥行き×高さ)	600×445×400	750×445×400
本体	木製 (パーティクルボード、合板)	
扉カラー	VP1：ホワイト	
付属品	取っ手セット (2個)	

■交換部品

品名	ヘアキャッチャー
品番	LF-PV-HC
主な材質	ABS
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	53×53×50
外観	
価格	¥800

※表示価格は2015年5月現在の価格です。(税別)

※仕様・価格は予告なく変更する場合があります。

オプション品・交換部品の購入方法

オプション品・交換部品の名称と品番をご指定ください。

オプション品・交換部品の名称と品番が不明のときは、当社お客さま相談センターにおたずねください。

取扱店などで購入される場合	宅配サービスをご利用される場合
当社商品の取扱店で お求めください。	LIXILパーツショップ水まわり部品販売の宅配サービスにて承ります。 (宅配サービスの場合は、送料が別途必要となります。) ☎ 0120-126-015 受付時間9:00～17:00 (土・日・祝日、夏期・年末年始の休みは除く)

■廃棄について

洗面化粧台、その他のキャビネットを廃棄処分する場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※ 品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名または品番：洗面化粧台 PV	
保証期間	取付日
取付日より 2 ヶ年	年 月 日
お客さま	おなまえ
	おところ
	おでんわ () -
無効	
取扱店名	
TEL () -	

お客さまへ

- ・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
- ・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

- 「取扱説明書」「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
 - 用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用など）に使用した場合の故障及び損傷などの不具合
 - 取扱説明書などに基づかない取付けに起因する不具合
 - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷などの不具合
 - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
 - 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
 - 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆など）または使用に伴う消耗部品の摩耗などにより生じる不具合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
 - 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫など）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
 - 天災地変（火災、爆発など事故、落雷、地震・噴火・風水害・津波、地盤沈下、凍結、雪害など）に起因する不具合による故障及び損傷
 - 戦争・暴動など破壊行為または犯罪などの不法行為に起因する破損や不具合
 - 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かびなどの現象
 - 消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまりなどによる故障および損傷
 - 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（※水道水とは水道事業者が供給する上水をいう。）
 - 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
 - ガス・電気・給水などの供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動など）に起因する故障及び損傷などの不具合
 - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
 - 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後 6ヶ年です。

使い方・お手入れ方法など、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00~18:00

土日・祝日 9:00~17:00 (ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050 FAX 0562-40-4053

修理のご依頼は (本文の「アフターサービスについて」をお読みください)

LIXIL修理受付センターへ

■WEBサイトからの修理依頼はこちら

※24時間依頼可能



リクシル修理

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

■お電話でも修理を承ります

受付時間/9:00~19:00

TEL ☎ 0120-179-411

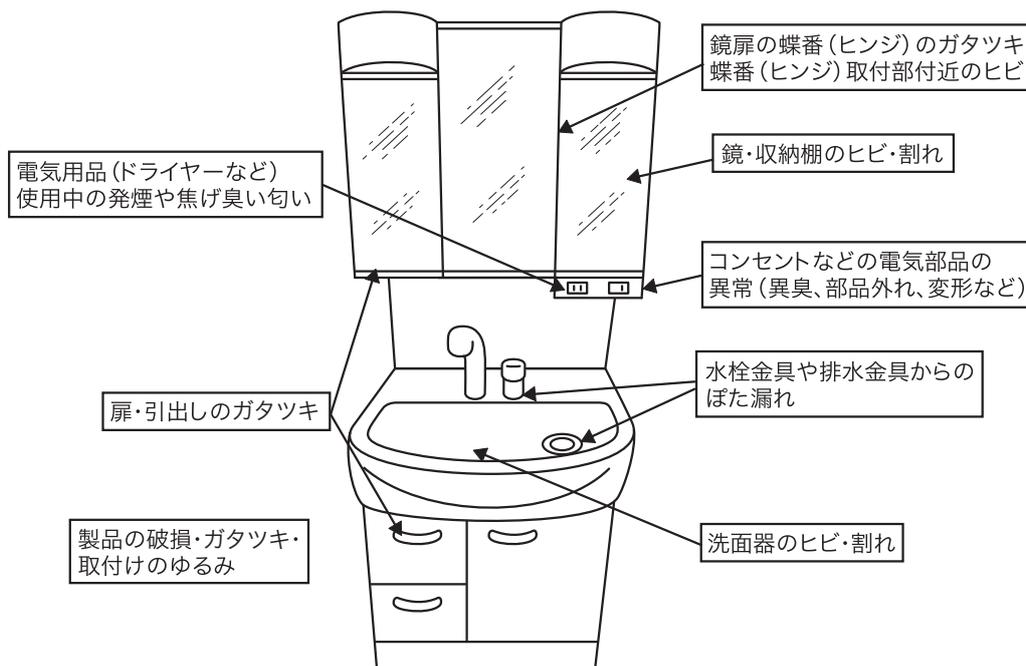
FAX ☎ 0120-179-456

●当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さまなどの個人情報を商品購入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

インターネットホームページアドレス

<http://www.lixil.co.jp/>

こんな症状が見られたら、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターに修理をご依頼ください。



袋:PE

GMB-0438(21034)